

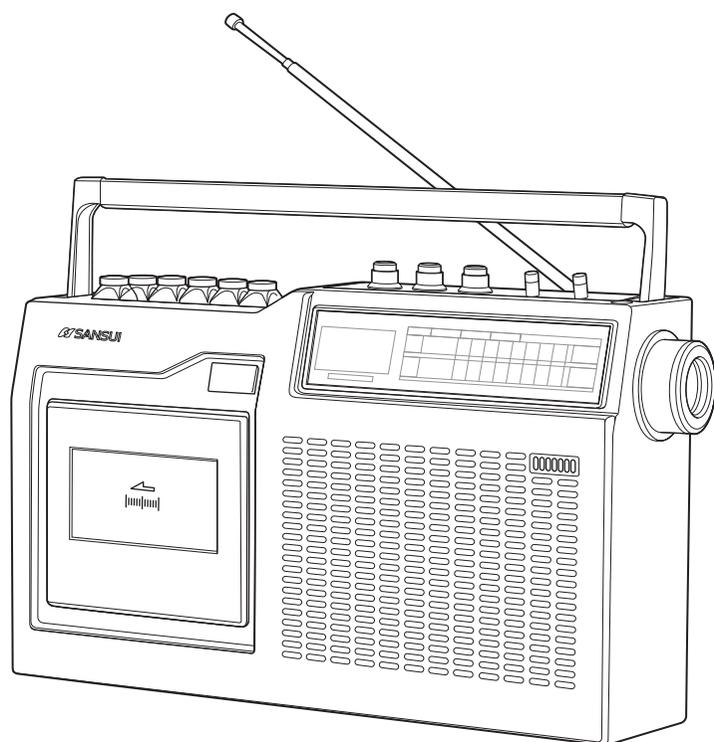
## モノラルラジオカセット SCR-3

### 取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保管してください。

#### も く じ

安全上のご注意	P. 2
ご使用になる前に	P. 4
各部の名称とはたらき	P. 5
正しい使いかた	P. 6
カセットテープを使用する	P. 8
ラジオを聴く	P. 10
お手入れのしかた	P. 12
修理・サービスを依頼する前に	P. 13
主な仕様	P. 15
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙



# 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

## 図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

# 警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 電圧の違うところ、自動車・船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・感電の原因になります。	 禁止	本製品にダストスプレー(エアダスター)を使用しない。 製品内部にガスが溜まった場合、引火し爆発する恐れがあります。	 プラグを抜く	使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	海外で使用しない。 本製品は日本国内専用です。		雷が鳴り始めたら、ロッドアンテナや電源プラグに触れない。 感電の危険があります。		お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	 使用禁止	乾電池を充電しない。 乾電池の破裂・液もれがおこり、火災やけが・故障の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシヤサービスセンター(裏表紙参照)にご相談ください。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を中止する。 火災・感電の原因になります。	 めれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。		電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 指示	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合は拭き取る。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。		
電源コードを乳幼児の手の届くところに置かない。 コードが誤って首に巻き付いたりして事故の原因になることがあります。	取りはずした乾電池の扱いに注意する。 幼児の手の届かないところに保管してください。乾電池を口に入れたり、ショートさせたりすると事故の原因になります。				

# ⚠ 注意

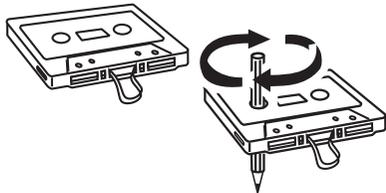
 禁止	次のようなところでは使わない。 ●ガスコンロなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・火災・感電の原因になることがあります。	 禁止	指定以外の乾電池を使用しない。 違う種類の乾電池、新旧の乾電池を混ぜて使用しない。 乾電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。	 指示	音量に注意する。 使用前には音量を最小にするようにし、使用中も音量を大きくしすぎないように注意してください。長時間、耳を刺激する大きな音量で聴き続けると聴力に悪い影響を与えます。
	窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。 キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災や感電の原因になります。	 指示	乾電池の極性に注意する。 乾電池をセットする際、乾電池の+（プラス）と-（マイナス）に注意し、表示どおりに正しく入れてください。乾電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。		持ち運びするときは、ロッドアンテナをたたむ。 けがや故障の原因となります。
	不安定な場所で使わない。 転倒したり落下して、けが・故障の原因になることがあります。		電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。		
	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。		長期間使用しないときや、家庭用電源で使用するときは乾電池を取りはずす。 液漏れにより、火災・けが・汚れの原因となる場合があります。		

# ご使用になる前に

## カセットテープについて

カセットテープの取り扱いについて

テープのたるみをなくして使用する。  
テープのたるみは、テープの巻きつきや、切断の原因となります。  
テープがたるんでいないかどうか確かめ、たるんでいるときは図のように鉛筆などで直してからご使用ください。



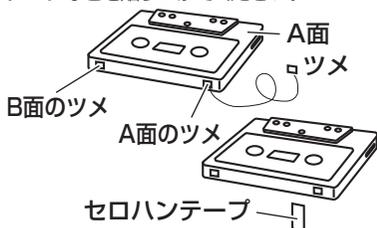
テープを本機に入れたままにしない。

長期間、録音再生しない場合は、テープが傷むのを避けるため、本機に入れたままにしないでください。テープは途中で取り出さず、必ず巻戻し、ケースに入れて立てて保管してください。

大切な録音を消さないために

録音禁止にするときには、カセットの後ろ側にある“ツメ”を折っておく。

保存しておきたいようなテープの場合には、カセットの後ろ側にある“ツメ”を折っておくと録音禁止になり、間違えて大切な録音テープに上書きせずすみずみまで録音したい時は、折ったツメの部分にセロハンテープなどを貼りつけてください。



ツメを折ってあるテープは録音ボタンの操作ができません。無理に押しつくと故障する場合があります。

リーダーテープについて カセットテープの両端のリーダーテープ部分は録音できません。

すぐに録音を開始させたい場合には、録音の前にこの部分を送っておいってください。

テープの種類について 本製品で利用できるテープはノーマルテープのみです。

ノーマルテープ以外(メタルテープやハイポジションテープなど)は十分性能が発揮できません。さらに、重ね録りで前の録音が消えずに残ってしまうなど、問題も発生するため、使用しないでください。

長時間テープを使わない。

90分以上のテープは変形しやすく、また伸びやすいため、なるべくご使用をお避けください。

エンドレステープを使わないようにしてください。

NRについて (再生/録音)

本製品にはNR(ノイズ・リダクション:雑音除去)機能はありません。

他のカセットデッキでNRを使用して録音されたテープは、本製品で聴くと音質が異常に聴こえます。

著作権について

あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は著作権法上、権利者に無断で使用できません。

## 乾電池について

乾電池を扱うときには

- ・指定以外の乾電池は使用しない。
  - ・新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。
  - ・極性表示を間違えないで挿入する。
  - ・水や火の中に入れてたり、充電・加熱・分解・ショートしない。
  - ・液漏れがおきたら使用しない。
- 乾電池はもちろん、本体も液がついた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにし、販売店にご相談ください。
- 万が一、液が体に付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。
- ・長期間使用しないときや、家庭用電源で使用するときは乾電池を取りはずす。
  - ・使いきった乾電池や、使用推奨期限の過ぎた乾電池もはずしておく。

## FM 補完放送について

FM 補完放送 (ワイド FM) ・AM放送の放送区域において難聴・災害対策のため、FM放送の周波数(従来の76

~90MHz、新たに設定された90.1~95MHz)を用いて、AM放送の補完的な放送をしています。

本機はFM補完放送に対応しています。

※FM補完放送を実施している放送局、周波数、聴取エリアなどは地域によって異なります。詳しくは各地域の放送局ホームページなどを確認してください。

## 免責事項について

お客様、または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

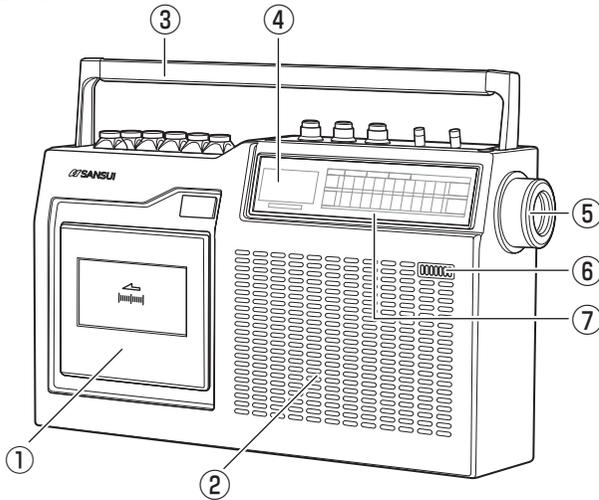
製品の故障・誤動作または不都合によるテープへの記録された内容の損害及び録音・再生など、お客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

カセットテープはフィルムに粉末状の磁性体を塗布したものです。長年ご使用になっていないテープや長時間使用されたカセットテープ等は磁性体が剥がれやすく、またカビ等が発生している場合があります。そのようなテープを再生、録音した場合、本体のカセットヘッドやピンチローラーの故障の原因となります。またお客様のカセットテープの巻き込みや破損の原因となります。

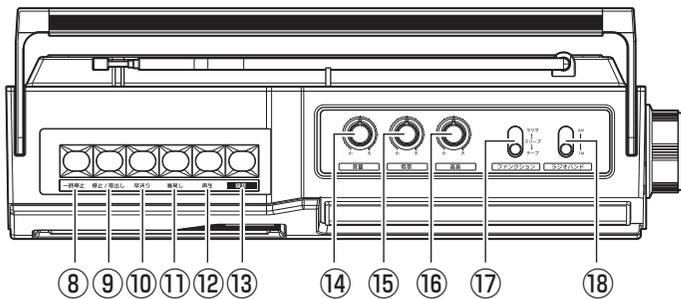
ご使用されたカセットテープが原因での本機の故障については、保証期間であっても保証対象外となります。またテープの巻き込みや破断、破損については、当社は一切の責任を負いません。

# 各部の名称とはたらき

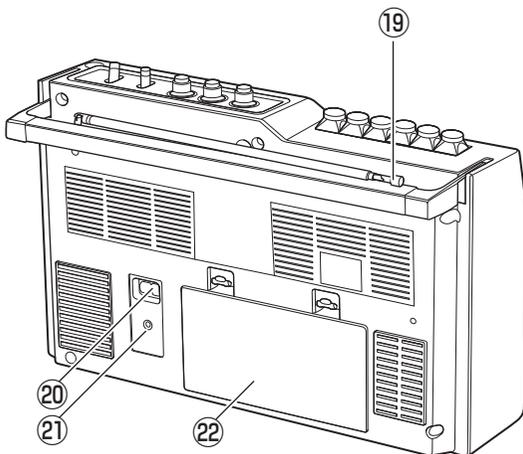
## 前面



## 上面



## 背面



- ① **カセットホルダー**  
カセットテープを入れます
- ② **スピーカー**  
音を再生します
- ③ **キャリングハンドル**  
本体の持ち運びをするときに使用します
- ④ **インジケーター(VUメーター)**  
出力レベルにあわせて動きます
- ⑤ **選局つまみ**  
ラジオの選局に使用します
- ⑥ **内蔵マイク**  
まわりの音を録音するときに使用します
- ⑦ **周波数表示**  
ラジオの選局に使用します
- ⑧ **一時停止ボタン**  
カセットテープ再生/録音の一時停止
- ⑨ **停止/取出しボタン**  
カセットテープ動作の停止/カセットホルダーを開きます
- ⑩ **早送りボタン**  
カセットテープの早送り
- ⑪ **巻戻しボタン**  
カセットテープの巻戻し
- ⑫ **再生ボタン**  
カセットテープの再生
- ⑬ **録音ボタン**  
カセットテープへの録音
- ⑭ **音量つまみ**  
音量の調節をします
- ⑮ **低音つまみ**  
低音域を増減させます(音質調節)
- ⑯ **高音つまみ**  
高音域を増減させます(音質調節)
- ⑰ **ファンクションスイッチ**  
ラジオ/スリープ/テープの各モードを切り換えます
- ⑱ **ラジオバンド切換スイッチ**  
AM 放送/ FM 放送の切換をします
- ⑲ **ロッドアンテナ**  
FM放送受信用アンテナ
- ⑳ **電源端子**  
付属の電源コードを接続します
- ㉑ **イヤホン端子**  
イヤホンやヘッドホンを接続します(3.5mm モノラルミニプラグ)。接続するとスピーカーの音が消えます
- ㉒ **電池ケース(ふた)**  
単1形乾電池 6本使用(電池別売)

## 梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1台
電源コード.....	1本
取扱説明書(保証書含む).....	1冊

# 正しい使いかた

## 電源の準備

家庭用電源または乾電池で使用することができます。

- 家庭用電源で使用される場合は必ず乾電池を取りはずしてご使用ください。
- 本体に乾電池が入っている場合、電源プラグをコンセントに接続すると、家庭用電源に切り替わります。乾電池で使用される場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

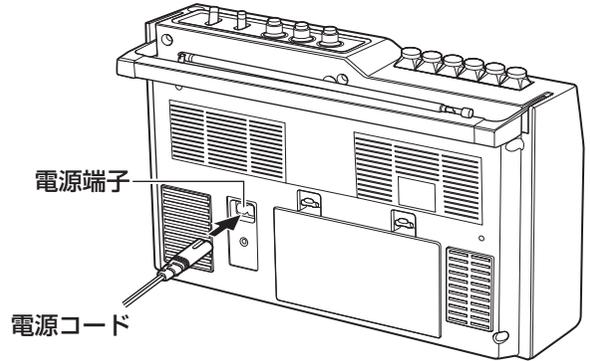


ファンクション      ラジオバンド

ファンクションスイッチ

## 家庭用電源で使用する場合

1. ファンクションスイッチを「テープ」の位置にする
2. 電源コードを、本体背面にある電源端子に差し込む
3. 電源プラグを、コンセントに差し込む

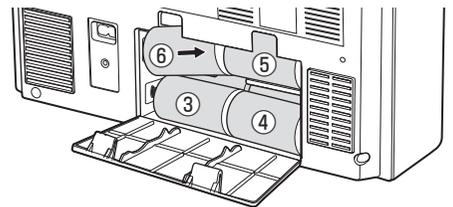
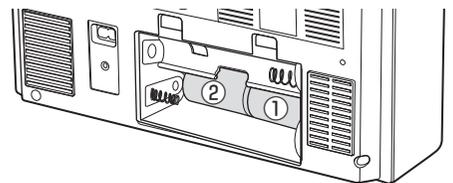


## 乾電池で使用する場合

1. ファンクションスイッチを「テープ」の位置にする
2. 本体背面の電池ふたをはずし、単1形乾電池6本(別売)を右図のように入れる

電池ふたのツメを押し下げながら手前に引いて、電池ふたをはずしてください。

電池は先に下の段の奥の2本を入れたあと、手前の4本を入れてください。

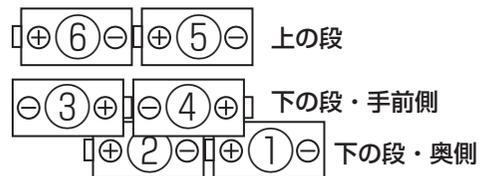


 <b>警告</b>	• +と-の向きに注意して入れる。 火災・故障の原因になります。
	• 長時間使用しないときや、家庭用電源で使用するときは乾電池を取りはずす。

※「乾電池について」(→ 4 ページ) もお読みください。

## 3. 電池ふたを取り付ける

電池ふたのふたつのツメがカチッと音がするまで押し込んでください。



※丸数字は入れる順番です

## 音量・音質を調節する



**大音量での再生に注意する。**  
周囲に迷惑をかけるだけでなく、聴力に影響をおよぼす場合があります。

### 1. 音量つまみを回して、適切な音量に調節する

音量つまみを左に回すと音量が小さくなり、右に回すと音量が大きくなります。

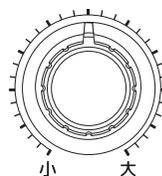
電源を入れるときなど、音量を最小にしてください。

### 2. 低音つまみを回して、低音域を増減させる

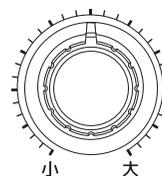
低音つまみを右に回すと低音が強調されます。

### 3. 高音つまみを回して、高音域を増減させる

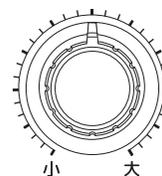
高音つまみを右に回すと高音が強調されます。



音量  
音量つまみ



低音  
低音つまみ



高音  
高音つまみ

## イヤホンを使用する

### 1. 音量つまみを左に回し、音量を最小にする

### 2. 本体背面にあるイヤホン端子にイヤホンを接続する

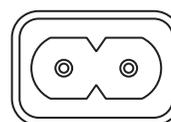
イヤホン端子にイヤホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。接続したイヤホンを取りはずすと音が出るようになります。

※本機のイヤホン端子は3.5 mmモノラルミニ端子です。

### 3. 音量つまみを回して、適切な音量に調節する



**イヤホンを使って大音量で長時間聴くことはしない。**  
聴力に影響をおよぼす場合があります。



電源端子

電源  
AC100V



イヤホン端子

イヤホン

## 電源を切る

使用を終えたときに、乾電池や家庭用電源がムダに消費しないように、以下の操作をします。

### 1. ファンクションスイッチを「テープ」の位置にする

※カセット操作部のボタンはすべて解除してください。ボタンが押されたままの状態では電力を消費することがあります。



**使用後は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。**  
火災・故障の原因になります。



ファンクション

ラジオバンド

ファンクションスイッチ

# カセットテープを使用する

カセットテープを操作するには、本体上部のカセット操作部を使います。

※「カセットテープについて」(→4ページ)もお読みください。

## カセットテープを再生する

1. ファンクションスイッチを「テープ」の位置にする

2. 停止/取出しボタンを押してカセットホルダーを開け①、カセットテープを入れる②

カセットテープはテープが見える側を上、聴きたい面を手前にして入れます。

3. カセットホルダーを閉める③

カチッと音がするまで確実に閉めてください。

4. カセット操作部のボタンでカセットテープを操作する

### 再生

・再生します。

### 一時停止

・再生中・録音中に一時停止します。もう一度押すと、再開します。

### 早送り

・早送りする(再生位置を進める)ことができます。

### 巻戻し

・巻戻しする(再生位置を戻す)ことができます。

### 停止 / 取出し

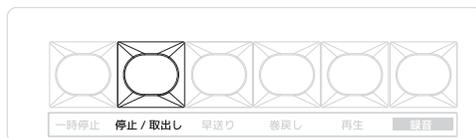
・カセットテープの再生・録音を停止することができます。  
・早送り・巻戻しを解除することができます。  
・カセットテープが停止状態の時に押すと、カセットホルダーが開きます。

5. カセットテープを聴き終わったら、停止/取出しボタンを押して確実に停止させる

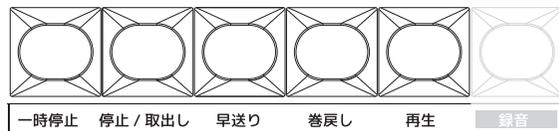
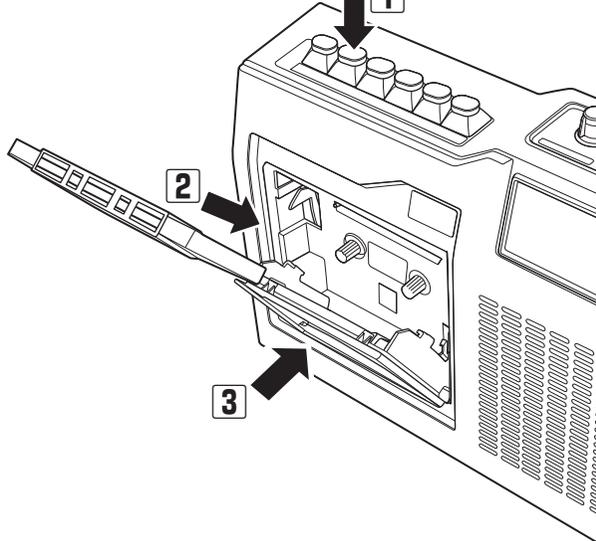
・本機はセミオートストップ機能が搭載されています。再生や録音時にテープの最後までいくと自動的に停止します。早送りや巻戻しでは自動的に停止しませんのでテープの最後までいったら停止/取出しボタンで停止させてください。停止させないで早送り/巻戻し動作を続けると故障の原因となります。



ファンクション ラジオバンド  
ファンクションスイッチ



停止 / 取出しボタン ①



カセット操作部

## カセットテープに録音する

本機は、ラジオをカセットテープに録音することができます。

※「カセットテープについて」(→4ページ)もお読みください。

### 1. 停止/取出しボタンを押してカセットホルダーを開け、カセットテープを入れる

カセットテープはテープが見える側を上、録音したい面を手前にして入れます。

### 2. ラジオを受信する

ラジオの操作は「ラジオを聴く」(→10ページ)をお読みください。

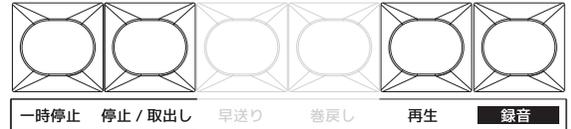
### 3. カセット操作部の録音ボタンを押すと録音が始まる

- 録音ボタンを押すと再生ボタンも同時に押されます。
- 録音レベルは自動調節されます。録音中に音量つまみを操作しても録音に影響ありません。
- テープの最後までいくと自動的に録音を停止します。

### 4. 録音を一時停止するには一時停止ボタンを押す

もう一度押すと録音が再開されます。

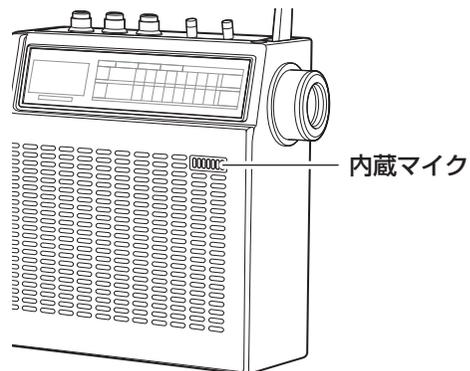
### 5. 録音を停止するには停止/取出しボタンを押す



カセット操作部

## 内蔵マイクで録音する

本機にはマイクが内蔵されています。ファンクションスイッチを「テープ」の位置にして録音ボタンを押すと、まわりの音を録音することができます。



# ラジオを聴く

## FMラジオ・AMラジオを聴く

本機ではFM放送とAM放送を聴くことができます。FM放送は76～108MHzの受信ができ、FM補完放送（ワイドFM）に対応しています。

1. ファンクションスイッチを「ラジオ」の位置にする
2. ラジオバンド切換スイッチで「AM」または「FM」を選ぶ
3. 選局つまみで聴きたいラジオ局の周波数に合わせる

周波数表示を目安に選局つまみを回し、ラジオ局の周波数に合わせます。

- 受信状態を向上させるには、電波をできるだけさえぎらないように、より窓際へ設置します。
- FM放送の受信状態を向上させるには、ロッドアンテナを伸ばしたり、角度を変えたりしてください。
- AM放送の受信状態を向上させるには、AMアンテナが本体内部にあるため、本体の向きや高さを変えてください。



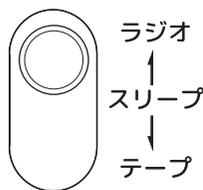
テレビの近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。テレビなどから離して使用してください。

4. ラジオを聴き終わったら、ファンクションスイッチを「テープ」の位置にする

電源が切れます。

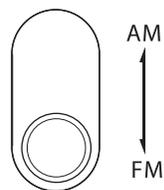


ラジオを聴かないときは、ロッドアンテナをたたんでおく。けが・破損・故障の原因になります。



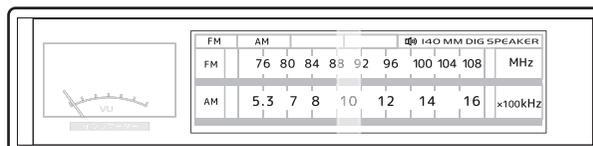
ファンクション

ファンクション  
スイッチ



ラジオバンド

ラジオバンド  
切換スイッチ



周波数表示

## 便利な使いかた

### スリープ機能を使う

本機のスリープ機能は、カセットテープの再生可能時間（46分、60分、90分など）を利用してラジオを切ることができます。

例：46分テープでは片面23分ですので23分後に電源が切れます。

#### 1. 停止/取出しボタンを押してカセットホルダーを開け、カセットテープを入れる

- ・30分後にラジオを切りたい場合は60分テープを入れてください。
- ・カセットテープは一番最初まで巻戻しておいてください。

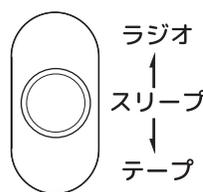
#### 2. ファンクションスイッチを「スリープ」の位置にする

#### 3. 再生ボタンまたは録音ボタンを押すと、ラジオの音声がでる

ラジオの操作は「ラジオを聴く」（→10ページ）をお読みください。

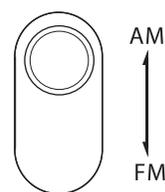
- ・録音ボタンを押した場合、ラジオをカセットテープに録音します。
- ・停止/取出しボタンを押してカセットテープを停止するとスリープ機能が解除され、ラジオの音声が消えます。

※早送りボタンや巻戻しボタンではスリープ機能を使えません。



ファンクション

ファンクション  
スイッチ



ラジオバンド

ラジオバンド  
切換スイッチ



**注意**  
ファンクションスイッチを「スリープ」の位置にした状態で早送り/巻戻し動作を行なわない。  
本体の故障やカセットテープが破損する恐れがあります。

#### 4. テープが最後まで再生されると、自動的にテープが停止し同時にラジオも停止する

# お手入れのしかた



- 修理技術者以外の人は分解や修理をしない。
- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。  
感電・火災・けがの原因になります。

## 本体のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か台所用洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布で拭き取り、さらに乾いた布でやさしくから拭きをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)

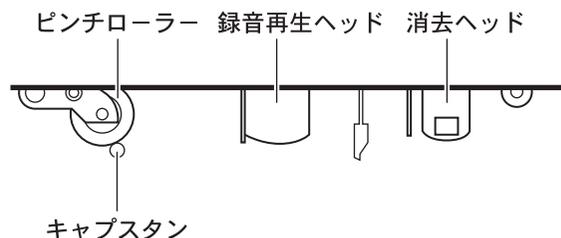
## カセットヘッド部のクリーニング

ヘッドやキャプスタン、ピンチローラーは長時間使用すると磁粉やゴミ、ホコリなどが付いて汚れてきます。汚れがひどくなると、音質が悪くなったり、音が小さくなる、前の音が消えないで残る、などの症状がでます。カセットホルダーを開け、市販のクリーニングキットで清掃します。ホコリなどは、市販のクリーニングキットのブロワーを使って掃きだしてください。

- 綿棒にクリーナー液をしみこませ、ヘッドやピンチローラー、キャプスタンを拭き取ります。
- クリーナー液を使用した場合、十分乾いてからテープをセットしてください。乾く前にセットすると、録音内容が消えるなど、テープに悪影響を与えます。

## 録音再生ヘッドの消磁

長時間使用するとヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をするとボソボソという雑音が入ります。このようなときは、市販のヘッド消磁器を使って録音再生ヘッドを消磁してください。



- ベンジン・シンナーでは拭かない。  
変色や変形の原因になります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従って使用する。  
変色・キズの原因になります。
- 本体に水をかけたりしない  
感電・故障の原因になります。

# 修理・サービスを依頼する前に

**⚠警告** 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
<b>共通部</b>		
電源が入らない	・電源コードがはずれている	電源コードを本体の電源端子に、電源プラグをコンセントに接続する
	・乾電池が消耗している	新しい乾電池に交換する
	・乾電池の向きがおかしい	乾電池を正しく入れなおす
音が出ない	・ファンクションスイッチが目的のモードに設定されていない	ファンクションスイッチを目的のモードの位置にする
	・イヤホン端子にイヤホンが接続されている	イヤホンを取りはずす
イヤホン端子にイヤホンを接続しても正しく聴こえない	・イヤホンのミニプラグが奥まで差し込まれていない	ミニプラグを奥まできちんと差し込む
雑音が入る	・近くで電波など発する機器（携帯電話など）を使用している	電波など発する機器から離す、もしくは電波など発する機器を離す
正常な動作をしない		一度電源プラグを抜いて接続しなおす、または乾電池をはずして入れなおす
インジケータ（VUメーター）が少ししか動かない	・音量が小さい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・VUメーターはスピーカーからの音の大きさに連動して動きます</li> <li>・VUメーターの針は最大音量時に最大レベルになる設定となっています</li> <li>・小音量時にVUメーターが少ししか動かないのは仕様であり、故障ではありません</li> <li>・録音レベルメーターではありません</li> </ul>

## ラジオ部

雑音が入る	・テレビなどが近くにある	テレビなどから離す
	・乾電池が消耗している	新しい乾電池に交換する
	・電波状態が悪い	本体を左右に回転させてみる（AM）、ロッドアンテナを立てる（FM）、窓ぎわなどで試してみる
突然電源が切れた	・スリープ機能を使用している	ファンクションスイッチを「ラジオ」の位置にする

## カセットデッキ部

カセットが入らない	・逆向きに入れようとしている	テープが見える側を上にして入れる
テープが機械に巻きつく	・ピンチローラーやキャプスタンが汚れている	クリーニングをする
	・テープがたるんでいる	たるみをなくしてから入れる
	・長時間テープを使用している	90分以上のテープは薄く、静電気などの影響で巻きつきやすいため使用しない

# 修理・サービスを依頼する前に（つづき）

症状	主な原因	処置
音がとぶ	・ヘッドが汚れている	ヘッドをクリーニングする
録音ができない	・ヘッドが汚れている	ヘッドをクリーニングする
	・カセットテープが入っていない	カセットテープを入れる
	・カセットテープの消去防止ツメが折れている	ツメの部分をテープでふさぐ
	・リーダーテープ部分に録音しようとしている	リーダーテープ部分には録音できません
マイクの録音音質がよくない	・マイクの前に障害物がある	マイクの周りを確認する
前の録音が完全に消えない	・ヘッドが汚れている	ヘッドをクリーニングする
	・ノーマルテープ以外のテープを使用している	ノーマルテープを使用する
雑音が多い 音質がよくない	・ヘッドが汚れている	ヘッドをクリーニングする
	・ヘッドが磁化している	ヘッドを消磁する
	・乾電池が消耗している	新しい乾電池に交換する
カセット操作部のボタンを押すとラジオが聴こえる	・スリープ機能を使用している	ファンクションスイッチを「テープ」の位置にする

## 長年ご使用の製品はよく点検を

### このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャサービスセンターに点検をご相談ください。

# 主な仕様

## 仕 様

電 源	AC100V 50/60Hz DC9V 単 1 形乾電池× 6 本
乾電池連続使用时间*	ラジオ受信時 : 約 32 時間 カセットテープ再生時 : 約 32 時間
消費電力	16W (動作時。スタンバイ時 1.6W)
定格出力	4.8W
受信周波数	FM : 76.0-108.0MHz AM : 530-1629kHz
カセットデッキ部	モノラル録音/再生 2ヘッド セミオートメカタイプ
外形寸法	(約) 幅345×奥行118×高さ207mm (突起物含む)
質 量	(約) 1.9kg (本体のみ)

\* ボリューム30%、新品のアルカリ乾電池使用時。

\* 周囲の温度や使用条件により、連続使用時間は異なることがあります。

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。

(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

## 株式会社ドウシシャ

(東京本社第一ビル) 〒140-0011 東京都品川区東大井1-8-10 (大阪本社) 〒542-8525 大阪府大阪市中央区東心斎橋1-5-5

■故障・修理についてのご相談に関しては…

⇒ドウシシャ福井 A & V サービスセンター 【受付時間】9:00～17:00 (土日祝以外の月～金曜日)

〒915-0801 福井県越前市家久町41-1 **TEL 0778 (24) 2779 FAX 0778 (24) 2799**

- ※ 製品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願い致します。
- ※ FAX もしくは、お電話をいただいた際にお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。